

HiKOKI

取扱説明書

用途

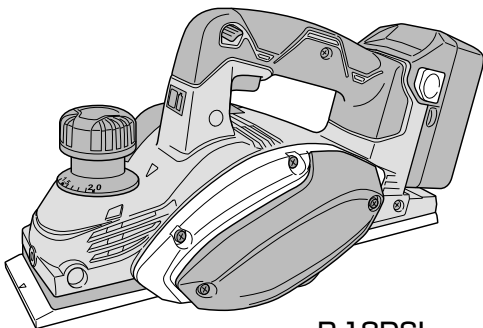
- 各種木材の切削
(平削り・相じゃくり・面取り)

ブレーキ付 コードレスかな

14.4 V P 14DSL [替刃式]

18 V P 18DSL [替刃式]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



P 18DSL

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
USB 機器との接続時のご注意…	9
各部の名称…	9
仕様…	11
標準付属品…	13
別売部品…	14

使い方

ご使用前の準備…	14
ご使用前の点検…	15
各種操作方法について…	16
電池残量について…	17
1 充電当たりの作業量について…	19
作業上のご注意…	20
切削する…	21
替刃の交換と調整…	25
ダストアダプタ (別売部品) の取付け方…	30
蓄電池を充電する…	31
USB 機器を充電する…	33
充電器使用上のご注意…	35

その他

保守・点検…	36
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

• 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

• 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

• 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

• 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

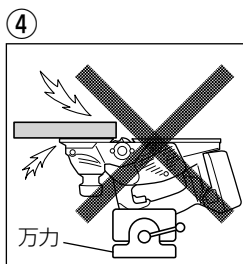
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスかんなとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ② 切削する材料は、安定性の良い台に置いて作業してください。
台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ③ 材料を手にとっての切削はしないでください。
かんな刃に触れ、けがの原因になります。
- ④ 機体を万力などで保持して、かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
かんな刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
回転しているかんな刃に触れ、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑦ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。



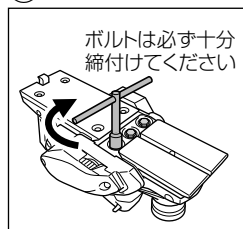
⚠️ 注意

- ① かなな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② かなな刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
- ③ 使用中は、機体の底面に手など身体を近づけないでください。
かなな刃に触れ、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ⑤ ベルトカバーの底面は、ベルトがおおわれていないので、使用中、手などを近づけないでください。
ベルトに手が触れ、けがの原因になります。
- ⑥ かなな刃の交換や刃高調整後は、かなな刃取付け用ボルトを十分に締付けてください。
ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
- ⑦ スイッチを切った後も、ブレーキで停止するまで回転しているかなな刃に注意してください。
けがの原因になります。
- ⑧ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑨ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑩ 電池残量表示パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑪ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑫ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑬ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑭ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

④⑤



⑥



○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆に使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

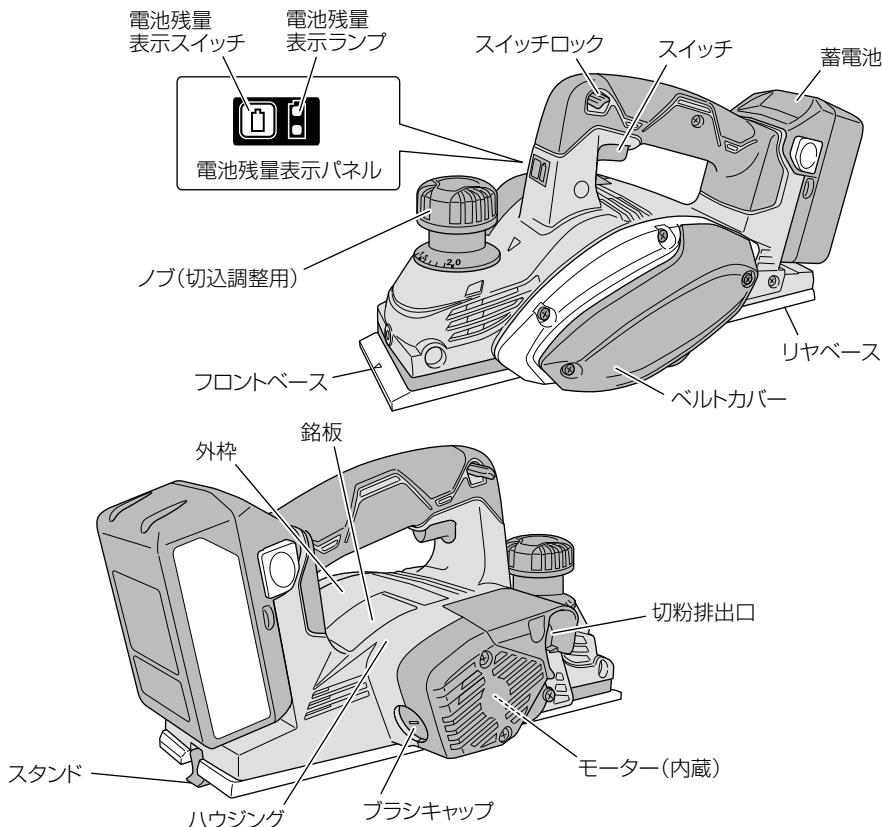
USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

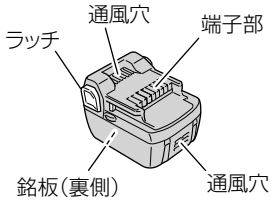
工具本体



蓄電池

14.4V (BSL1460)

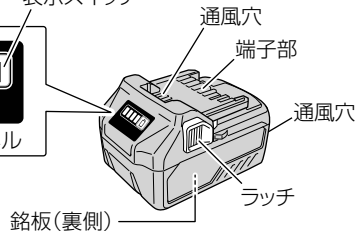
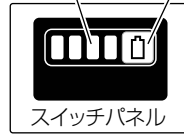
18V (BSL1860)



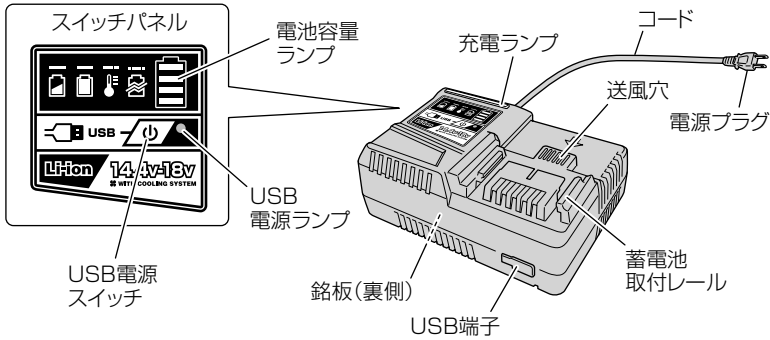
36V (BSL 36A18)

電池残量
表示ランプ

電池残量
表示スイッチ



充電器



仕 様

1. 工具体体

形 名	P 14DSL	P 18DSL	
モ ー タ ー	直流モーター		
切 削 幅	82 mm		
最大切込み深さ	2.0 mm		
無 負 荷 回 転 数	16,000 min ⁻¹ { 回 / 分 }		
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池		
使用可能蓄電池	BSL 14xx シリーズ	BSL 18xx シリーズ マルチボルトタイプ蓄電池	
本 体 寸 法 全長×幅×高さ	326 × 166 × 160 mm (BSL 1460 装着時)	332 × 166 × 160 mm (BSL 1860 / BSL 36A18 装着時)	
質 量	3.2 kg (BSL 1460 装着時)	3.3 kg (BSL 1860 装着時)	3.4 kg (BSL 36A18 装着時)
残量表示ランプ	赤色 LED		

2. 蓄電池

形 名	BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池		
電 池 電 圧	14.4 V	18 V	36 V / 18 V (自動切替 ^{*1})
容 量	6.0 Ah		2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 ^{*1})
冷 却	対応		
使 用 可 能 コ ー ド レ ス 製 品	14.4 V 品	18 V 品	18 V 品 ^{*2} 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器		
残量表示ランプ	-		緑色 LED

※1：工具体体により自動で切り替わります。

※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

3. 充電器

形 名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間*1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30分 BSL 1860 : 約 30分	BSL 1430C : 約 30分 BSL 1830C : 約 30分	BSL 36A18 : 約 25分 BSL 36B18 : 約 40分 BSL 36C18 : 約 15分	
		BSL 1450 : 約 25分 BSL 1850 : 約 25分	BSL 1425 : 約 25分 BSL 1825 : 約 25分		
		BSL 1440 : 約 20分 BSL 1840 : 約 20分	BSL 1420 : 約 20分 BSL 1820 : 約 20分		
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コ ー ド		2 心ビニールコード			
質 量		0.8 kg			
使用温度範囲*2		- 10 ~ 40℃			
冷 却		対応 (ファン付)			
ブ ザ ー 音		あり			

※ 1 : 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

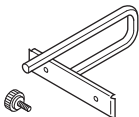
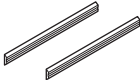
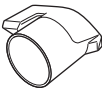


※ 2 : 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

標準付属品

品名・形名 工具本体 仕様	P 14DSL		P 18DSL		
	LYP	NN	LYP	LXP	NN
替刃式かな刃 (2 枚) 	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)
ボックススパナ 	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
セットゲージ 	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
蓄電池 BSL 1460 	1 個	—	—	—	—
蓄電池 BSL 1860 	—	—	1 個	—	—
蓄電池 BSL 36A18 	—	—	—	1 個	—
充電器 UC18YDL 	1 台	—	1 台	1 台	—
電池カバー 	1 組	—	1 組	1 組	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

<p>ガイド (止めねじ付)</p> 	<p>替刃式かな刃 (2枚入り)</p> 
<p>ダストアダプタ 集じん機、ダストバッグ、エルボを使用 する場合に使用します。 (P.30 参照)</p> 	<p>エルボ</p> 
<p>ダストバッグ</p> 	

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●作業台 (木製) を用意します

かな作業に合った、しっかりした作業台をご用意ください。

作業台がぐらぐらしていると危険です。

作業台は安定した状態に設置してください。

ご使用前の点検

⚠ 警告

- 手順①については、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いた状態で確認してください。
- 手順②については、蓄電池をさし込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
スイッチを入れたまま蓄電池をさし込むと急に動き、思わぬけがの原因になります。

⚠ 注意

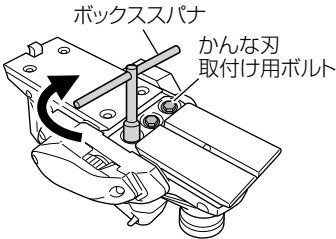
- 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
機体を落としたりし、けがの原因になります。

注 ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

1

かな刃の締付けを確認する

付属のボックススパナで、かな刃取付け用ボルトを締付けてください。



3

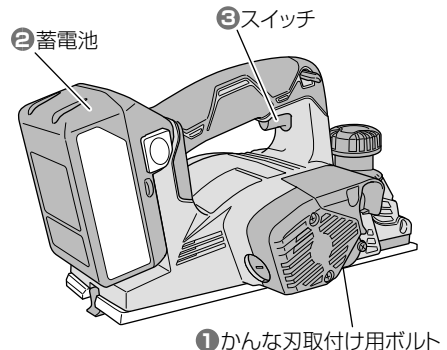
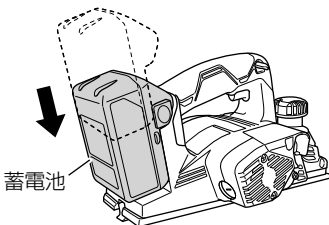
ブレーキがかかることを確認する

この機体はスイッチを切ると同時に、かな刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。
ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

2

蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



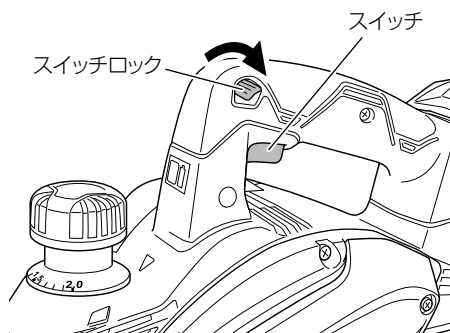
各種操作方法について

●スイッチの操作について

スイッチロックを矢印側に引きながらスイッチを引くと、かなな刃が回転します。

スイッチが入った後は、スイッチロックをはなしても、スイッチを引いている間は、かなな刃は回転を続けます。

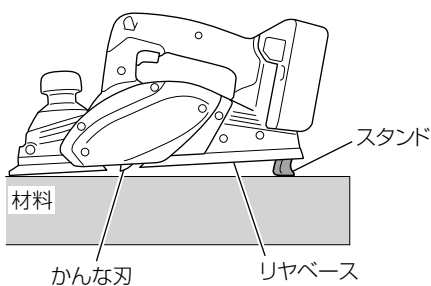
スイッチをはなすと、かなな刃の回転にブレーキがかかり停止します。



●スタンドの使い方

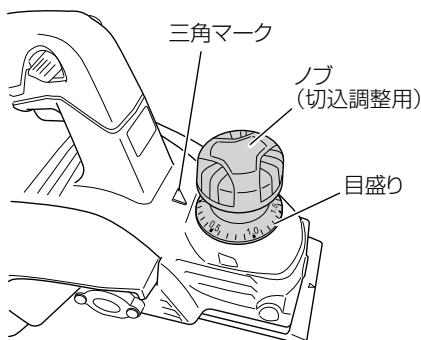
機体のリヤベースを上げると、スタンドがリヤベースの下に出てきます。

スタンドを出した状態で置くことで、かなな刃が不用意に材料と接触して傷を付けることを防ぎます。



●切込み深さの調整方法

ノブを回し、目盛りを三角マークに合わせます。切込み深さは0～2.0 mmまで調整できます。






電池残量について

● 工具本体の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すと赤色ランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

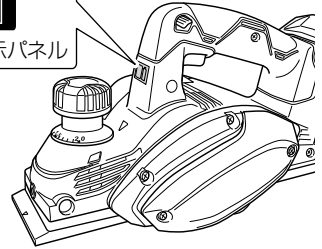
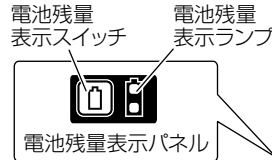
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

電池残量表示パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



- 注**
- 電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
 - ランプは蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。

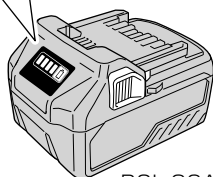
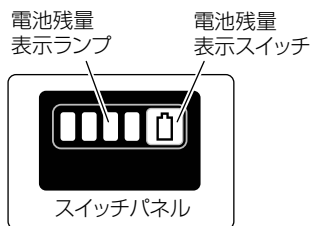
● 蓄電池の電池残量表示について (マルチボルトタイプのみ)

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約 3 秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。

(締付け本数は、木材のかたさ、使用環境、蓄電池特性などにより多少異なります。)

作業内容 (mm)	形名 蓄電池	P 14DSL	P 18DSL	
		BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18
切込み深さ： 1 mm		約 95 m	約 105 m	約 95 m
切削幅： 50 mm				
材 料： 米松				

作業上のご注意

●連続作業について

本機は蓄電池の寿命を長くするため、保護機能が搭載されています。

作業等の連続でのご使用や、切込み深さを深くしてのご使用は蓄電池が発熱し、自動停止する場合があります。

特に下記の蓄電池を使用するときは、発熱による急激な劣化を防止するため、過熱状態になる前に機体を停止する場合があります。

その際は蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

対象の蓄電池：BSL1425、BSL1420、BSL1415、BSL1825、BSL1820、BSL1815
および容量が低下した蓄電池

●蓄電池の上手な使い方

下記の蓄電池をご使用の場合は、リチウムイオン電池の寿命を長くするため、軽負荷での作業をお勧めいたします。

作業の例：切込み深さの浅い仕上げ作業、面取り作業

対象の蓄電池：BSL1425、BSL1420、BSL1415、BSL1825、BSL1820、BSL1815
および容量が低下した蓄電池

⚠ 警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体から抜いてください。
- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。
不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 回転中のかんな刃には手や身体を近づけないでください。
- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 切削中に機体をこじったり、強く押しすぎないでください。機体をまっすぐにゆっくり進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、かんな刃の寿命を短くします。
- かんな刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

⚠ 注意

- 運搬は、必ずかんな刃の動きが止まってからにしてください。
かんな刃に衣類などが巻き込まれるなど、けがの原因になります。
- 運搬時には、スイッチから指をはなしてください。
不意にスイッチが入り、けがの原因になります。

- 注**
- 作業の負荷を急激に変化させないでください。
かんな刃やセットプレートの損傷をまねく恐れがあります。
 - 材料に釘や異物（ワニス、ペンキ、小石、土ぼこり、砂など）が付着していないことを確認してください。
かんな刃の損傷や異常摩耗をまねく恐れがあります。
 - 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合、モーターが停止する場合があります。
これは電子部品を保護するためのものであり、故障ではありません。
このときは、機体をしばらく休ませてください。再びご使用になれます。

●平削り

⚠警告

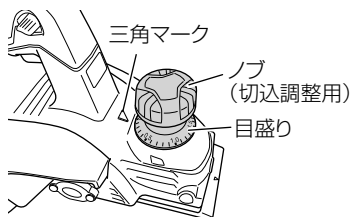
切込み深さを調整する際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いた状態で調整してください。

⚠注意

かんな刃が材料に触れた状態でスイッチを入ると、けがの原因になります。

1 切込み深さを調整する

ノブを回し、目盛りを三角マークに合わせます。切込み深さは0～2.0 mmまで調整できます。
(目盛りの単位は mm です。)



荒削りの場合：

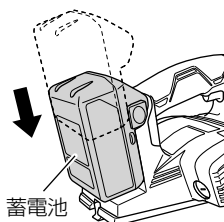
切込みを深くして能率的に削りますが、削りくずが詰まらずに、きれいに飛び出すように送りの速度を加減してください。

仕上げ削りの場合：

切込みを浅くし、送りを遅くするときれいな面が得られます。

2 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



3 フロントベースを木材に載せ、かんなを平らに支える

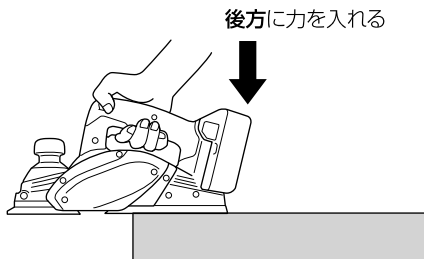
かんな刃が材料に触れない位置で、フロントベースを材料に載せ、前の方に力を入れます。



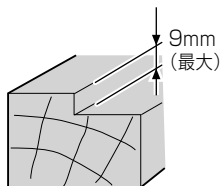
4 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

かんな刃が材料に触れない位置で、スイッチを入れて、一定の速度で前方に進めます。

削り終わりには後の方に力を入れて、完全に削り終わるまで、機体を平らに動かしてください。

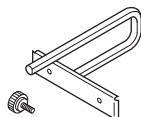


●相じゃくり作業（段差を付ける）



相じゃくり作業は、別売部品のガイドを使用してください。

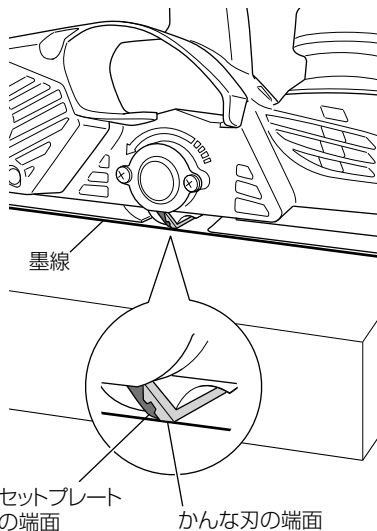
ガイド（別売部品）



1 かな刃の端面を墨線に合わせる

木材の削りたい幅の位置に墨線を書き、かな刃の端面を墨線に合わせます。

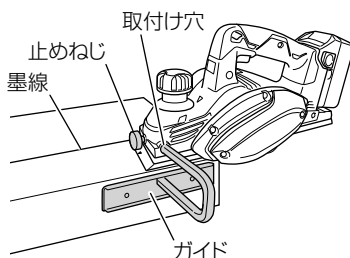
注 セットプレートの端面からかな刃の端面が少し出ていることを確認してください。



2 ガイドを取付ける

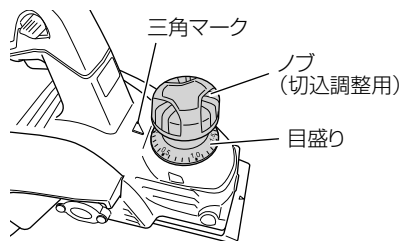
ガイドを機体前部の取付け穴よりさし込み、木材の側面に突き当てて、その位置で止めねじをしっかりと締付けて固定してください。

注 ガイドは、木材の側面に確実に当てて切削してください。
すき間のある状態で切削しますと削り幅がバラツキます。



3 切込み深さを調整する

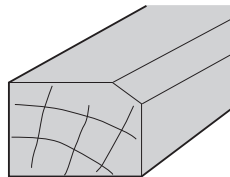
相じゃくり深さの最大は9mmです。1回の最大切込み深さは、2.0mmですので、必要とする深さまで数回に分けて削ってください。



注 相じゃくり作業は、進行方向に対して機体の右側で行ってください。左側では、機体のベルトカバーに材料が当たり、深さが不足します。

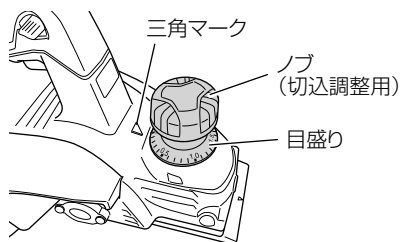
●面取り作業（木材の角をとる）

機体のフロントベースの中央にあるV溝を木材の角に合わせて削ることで、面取り作業ができます。



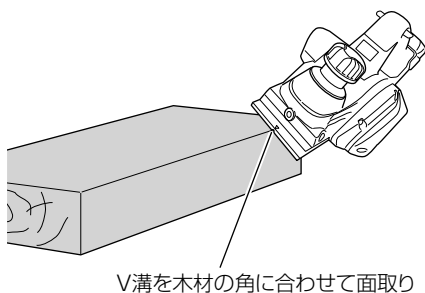
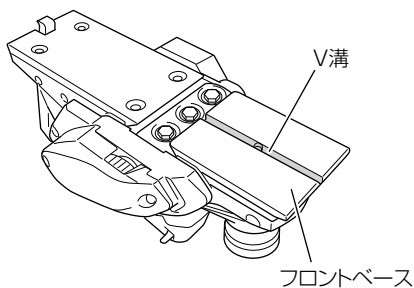
1 切込み深さを調整する

ノブを回し、目盛りを三角マークに合わせます。
(目盛りの単位は mm です。)



2 V溝を木材の角に合わせる

機体のフロントベースの中央にあるV溝を木材の角に合わせ、角度を保ってゆっくりと機体を前に進めると、面取り作業ができます。



替刃の交換と調整

- かんな刃（替刃）を交換
- 刃の出張り量の調整

警告

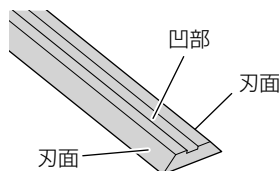
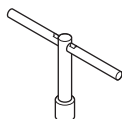
- 替刃の交換や調整を行うときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- 替刃の交換は、安定した台や床の上で行ってください。
- ボルトの着脱は、付属のボックススパナで作業してください。
付属以外の工具を使用すると、締めすぎや締め付け不足になり、けがの原因になります。

● 替刃の交換

替刃は1本に刃面が2面あります。
1面が磨耗しましたら、刃面を替えてください。1本の両面が磨耗したときは、新品と取替えてください。
替刃の交換は、付属のボックススパナを使用します。

注 替刃の刃面を替えるとき、新品と交換するときは、必ず2本同時に行ってください。

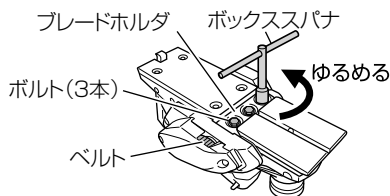
ボックススパナ



取りはずし方

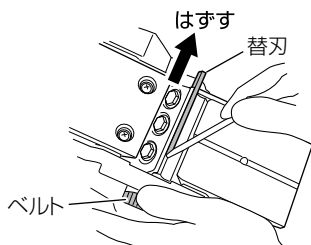
1 ボルトをゆるめる

ベルトを回してボルトをゆるめやすい位置にします。
ブレードホルダを固定しているボルト（3本）をボックススパナでゆるめます。



2 替刃を取りはずす

ベルト側よりドライバーの先端などで押し取りはずします。

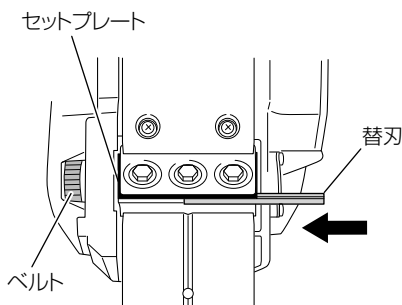


1 替刃を取付ける

替刃取付け部周辺に付いている削りくずをきれいにふきとります。

ベルトを回して替刃を取付けやすい位置に、セットプレートを移動させます。

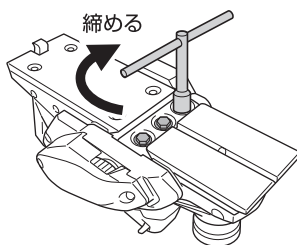
ベルトの反対側より、セットプレートの凸部に合わせて替刃を挿入します。



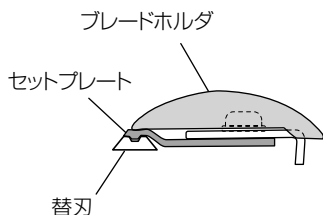
2 ボルトを固定する

下の **注** 2 件の状態になっていることを確認しながら、替刃がずれない程度まで手でボルト (3 本) を仮締めします。

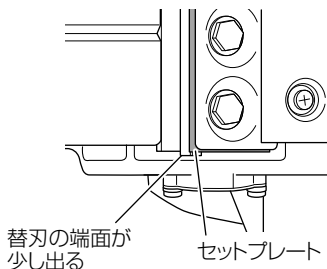
替刃の位置が正しいことを確認してからボックススパナでボルトを十分に締め付けます。



注 セットプレートの凸部と替刃の凹部がかみ合っていることを確認してください。



注 切粉排出側のセットプレート端部から替刃の端面が少し出ていることを確認してください。

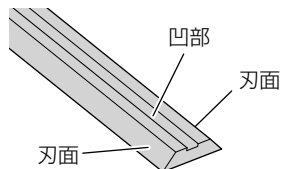
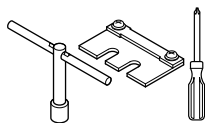


● 替刃の刃高調整

工場出荷時に刃高調整されており、調整の必要はありません。

万一、刃先がベースの面より極端に出過ぎていたり、引っ込んでいる場合は、以下の手順で調整してください。替刃の刃高は、付属のボックススパナ、セットゲージおよびお手持ちのプラスドライバーを使用します。

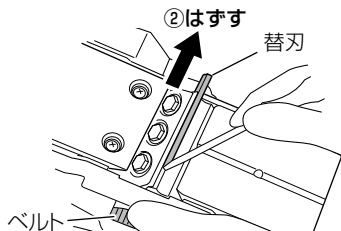
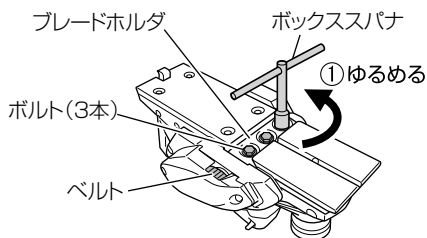
ボックススパナ
セットゲージ
プラスドライバー



1

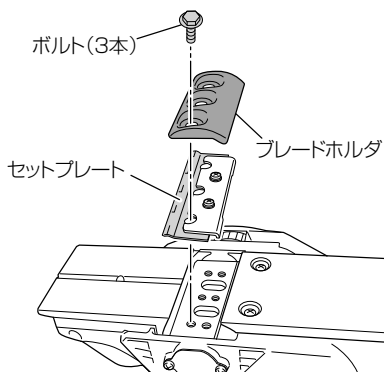
替刃を取付ける

P.25 ①②の手順で替刃を取りはずします。



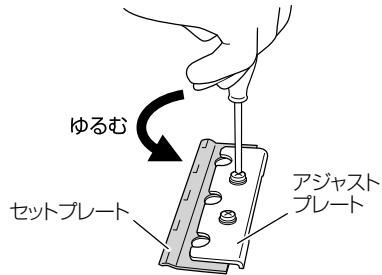
2

ボルト、ブレードホルダと セットプレートを取りはずす



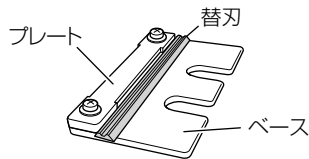
3 固定ねじをゆるめる

セットプレートの固定ねじをゆるめてアジャストプレートが動けるようにします。



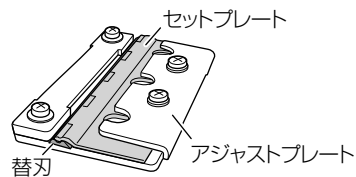
4 替刃を取付ける

替刃を標準付属のセットゲージのベース上に置き、刃先全体をプレートに接するようにします。



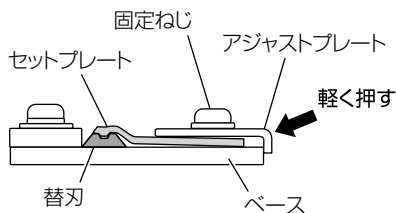
5 セットプレートを載せる

替刃の凹部にセットプレートの凸部を載せます。



6 調整する

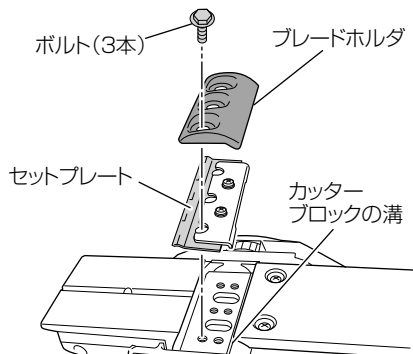
アジャストプレートの端をベースの側面に当て、アジャストプレートを替刃の刃先に向かって軽く押しながら固定ねじをしっかりと締付けてください。



7

セットプレートと ブレードホルダを取付ける

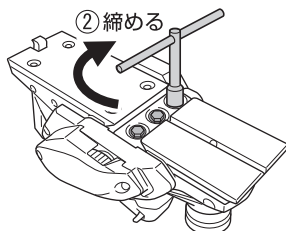
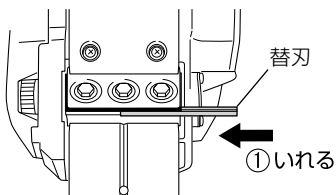
セットプレートをカッターブロックの溝に合わせて取付け、ブレードホルダを被せてボルトで軽く取付けます。



8

替刃を取付ける

P.26 ①②の手順で替刃を取付けます。



ダストアダプタ（別売部品）の取付け方

⚠警告

ダストアダプタの取付け、取りはずしの際には、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。

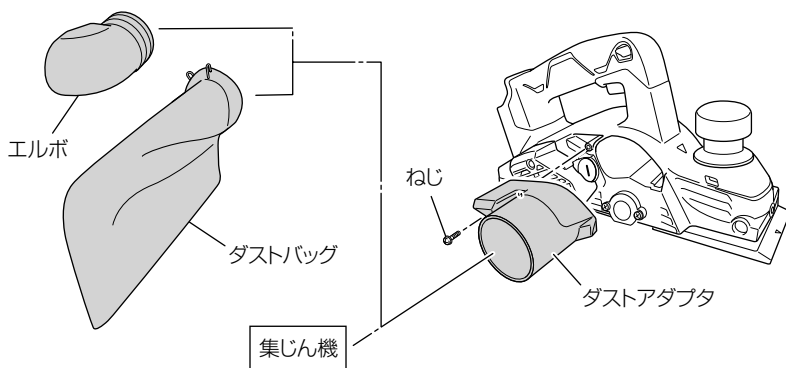
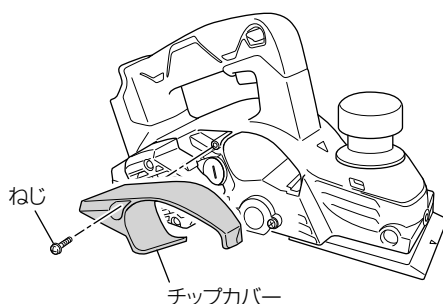
⚠注意

ダストアダプタは、下記に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

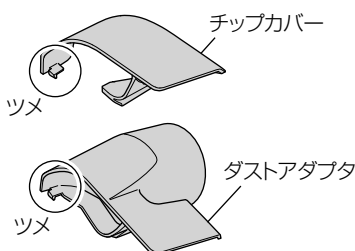
集じん機やエルボ、ダストバッグと接続する際、別売のダストアダプタを取付けて使用します。

1 チップカバーの取付ねじを、お手持ちのプラスドライバーではずし、チップカバーを取りはずします。

2 ダストアダプタを取付け、取付ねじで固定します。



注 チップカバー、ダストアダプタの取付け、取りはずしの際は、ツメを折らないように注意してください。



蓄電池を充電する

ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

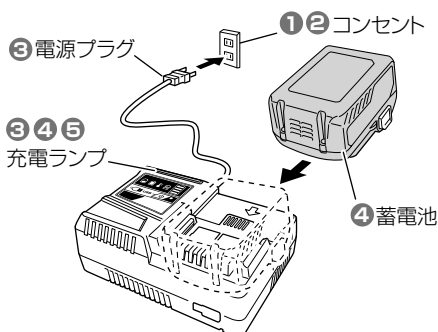
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 1860/1460 : 約 30 分
BSL 36A18 : 約 25 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.32「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音:約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯 (断続ブザー音:約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用しますと、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

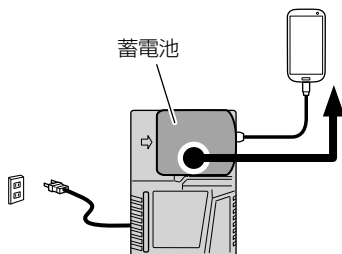
弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(P.35「充電器使用上のご注意」参照)
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

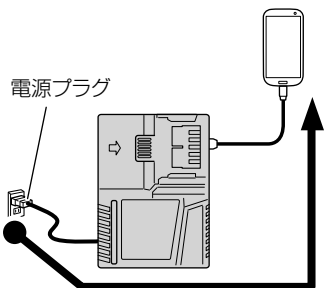
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

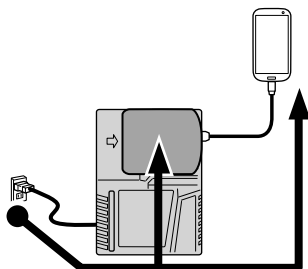
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2 USB 電源スイッチを ON にする

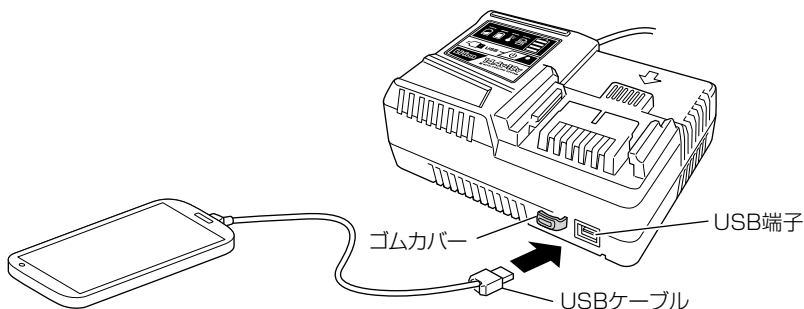
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

充電器使用上のご注意

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをお勧めします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

保守・点検

警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● かな刃の周りの掃除

特に湿った木材を削った後は、切粉排出口やかな刃のウラ刃の部分などに付着した切粉をきれいに取り除いてください。

● かな刃の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。また、仕上がりが悪くなりますので早めに目立てするか、新品と交換してください。

警告

切れ味の悪くなったかな刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

● ベースなどの取扱いについて

フロントベース、リヤベースおよびノブ（切込調整用）の取付部は、特に高い精度を必要とする所ですので、入念に加工してあります。

乱暴な取扱いをして、この部分をぶつけたりしますと、精度がくると、切削作業に支障をきたすことがありますので、取扱いには十分ご注意ください。

● 端子部（工具体体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。

作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をモーター後部の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

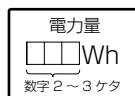
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

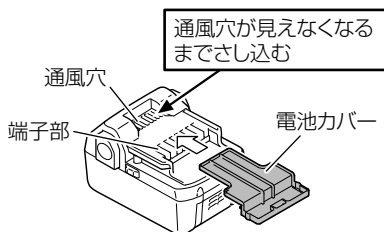


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



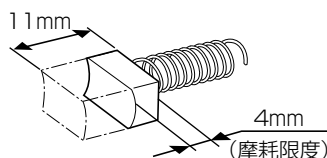
- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因となります。長さが摩耗限度（4 mm ぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由に滑るようにしてください。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

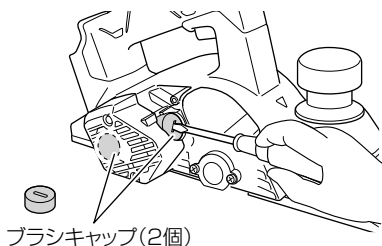
1 チップカバーをはずす

お手持ちのプラスドライバーで取付ねじをはずし、チップカバーを取りはずします。

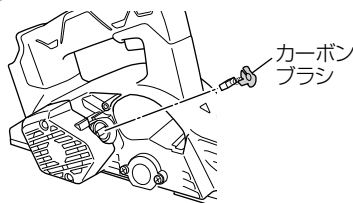


2 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。

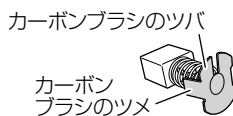


3 カーボンブラシを取り出す



4 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。



5 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>